

年間授業計画

足立工科 高等学校 令和6年度（2学年用） 教科

家庭

科目

家庭基礎

教科： 家庭

科目： 家庭基礎

単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 4 組

使用教科書：（ 高等学校 Creative・Living 〔大修館書店〕 ）

教科 家庭

の目標：

【知識及び技能】 家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それにかかわる技能を身につけること。

【思考力、判断力、表現力等】 家庭や地域、社会の中から問題を見出して課題を設定し、その解決策を考え、実践し、評価・改善し、考察したことを表現するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養うこと。

【学びに向かう力、人間性等】 家庭科の学びを通じて、よりよい社会の構築に向けて、様々な人々と協働して生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養うこと

科目 家庭基礎

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
基礎・基本を身につけ、活用できる力を養うこと。自らが生活をつくる主体として、毎日の生活を営むために必要な知識と技能を身につけ、活用する。実習を多く取り入れることでより実践力を身につける。学んだ知識や技能を自立した生活者として、日々の生活の中で活かし、実践できる力をつける。	問題を見つけ、解決できる力を身につける。よりよい生活の実現に向けて、身近な生活の問題を見つけ、その解決のために意思決定し決定を行動に移して実践することができるようにする。	生涯にわたり、目標をや夢に向かうライフプランを描き続けられる力をつける。社会の一員として地域社会や地球規模の課題にも目を向けて考え、対応できる力をつける

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 生活のマネジメント 生涯、発達し続ける、意思決定を重ねてつくる人生、生活時間 青年期の課題と自立 5つの自立について、一人暮らしの経済生活 【知識・技能】 生涯発達の考え方に立ち、ライフステージごとの特徴と課題について理解する。意思決定、生活時間 【思考・判断・表現】 自分の発達段階を知り、今の自分の課題について考えることができるようになる 【主体的に学習に取り組む態度】 人の一生を生涯発達の視点でとらえ、各ライフステージの特徴と課題について考えようとしている。	・指導事項 発達段階の特徴と発達課題 ライフステージ、意思決定について、ライフスタイルとライフイベント、リスクマネジメント、生活設計、生活時間、自立、一人暮らしにかかるお金 ・教材 教科書、冊子 ・一人1台端末の活用 等 Teamsなど	【知識・技能】 情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 高校生活の課題、自己の生き方、将来のあり方について考えを深めながら、人生について考えることができるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々なライフコースがあることについて考えようとしている。自分らしいライフスタイルや生活にかかわる価値観、生活時間のありかたなどを踏まえ、将来の生活設計について考えようとしている。	○	○	○	8
	中間考査(レポート)	自分探しのワークシート	きちんと取り組んでいるか、工夫がされているかどうか		○	○	2
	B. 衣生活のマネジメント（実習） 【知識・技能】 基本的な手縫いができるようになる。半縫製済エプロン教材を使ってエプロンを作成する 【思考・判断・表現】 裁縫の技術を積極的に、そして効率的にできるように工夫する。 【主体的に学習に取り組む態度】 協力しあって実習を進められるようにする	・指導事項 ①手縫いの基礎 ②エプロン製作 ・教材 教科書、花ふきん、エプロン ・一人1台端末の活用 等 Teamsなど	【知識・技能】 基本的な手縫いができている。エプロン作成においての各工程がきちんと進められる。ミシンを正しく使えるかどうか。 【思考・判断・表現】 効率的に進められるかどうか。 【主体的に学習に取り組む態度】 自ら積極的に取り組んでいるかどうか、	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
2 学 期	C. 食生活のマネジメント 【知識・技能】 ①食べることの意味、いただきます食べることの意味について知る。五大栄養素について知る。栄養バランスを考えた献立作成ができるようになる ②五大栄養素 ③炭水化物、脂質、たんぱく質 ④無機質とビタミン ⑤栄養バランスと献立 ⑥調理実習 【思考・判断・表現】 食生活の問題点について考える。 【主体的に学習に取り組む態度】 調理実習を通して、自分の食について関心を高めるとともに学んだことを実践できる力をつける	・指導事項 ①食べることの意味、いただきますとごちそうさまについて ②五大栄養素 ③炭水化物、脂質、たんぱく質 ④無機質とビタミン ⑤栄養バランスと献立 ⑥調理実習 ・教材 教科書 ・一人1台端末の活用 等 Teams、など	【知識・技能】 いただきます、ごちそうさまの言葉の意味を理解する中で、食べることを理解できる。五大栄養素を知り、自分の体が自分の食べるもので出来ていることを理解する。栄養バランスを考えて、自分の献立を作ることができるようになる。自分の食べるものを作ることができる技術を身につける 【思考・判断・表現】 自分の食生活を振り返り、自分の今の現状を知るとともにどうしたら栄養バランスのよい食事が摂れるか考える。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分の食べるもので自分の体が出来ていることを実感し、自分の食べているものに目を向けるとともに、自分で自分の食べるものを作ることができるようになる力をつける	○	○	○	18
	中間考査（レポート）			○	○		1

3 学 期	B. 衣生活のマネジメント（実習）続 き D. 子どもの生活と子育てのマネジ メント 【知識・技能】 乳幼児期が人間の発達の基礎であ ることを知る。命の誕生のプロセス を知る。乳幼児期の子どもの発達過 程を知る。 【思考・判断・表現】 自分の子ども時代を思い出しなが ら、まとめたり、発表したりするこ とができる 【主体的に学習に取り組む態度】 自分の子ども時代を思い出しなが ら、子どもの成長発達について主体 的に考える。	・指導事項 ①エプロン製作 ②妊娠・出産の過程と胎児の成長 発達 ③乳幼児期の子どもの発達成長 ④実習（折り紙、おもちゃ製作） ・教材 教科書 ・一人1 台端末の活用 等 Teamsなど	【知識・技能】 妊娠出産の過程について正確に理解でき る。折り紙を正確に折ることができる。子ど ものおもちゃを製作できる。 【思考・判断・表現】 乳幼児期が人間の発達の基本にあることを 理解し、親の役割について考えることができ る。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分の子ども時代を思い出しながら、実習 を通して主体的に子どもについて考えること ができる。	○	○	○	18
	定期考査			○	○		1
	E 経済生活のマネジメント 【知識・技能】 消費にかかわる契約について知 る。キャッシュレス社会について知 る。クレジットについて。消費者ト ラブルについて、消費者としての自 立 【思考・判断・表現】 自分自身の経済生活について振り返り 、リスクマネジメントについて考 える 【主体的に学習に取り組む態度】 自分の消費行動を振り返り、どの ように行動すべきか考えられるよう にする	・指導事項 ①経済のしくみ ②契約 ③キャッシュレス社会 ④クレジットカード ⑤消費者トラブル ・教材 教科書 ・一人1 台端末の活用 等 Teamsなど	【知識・技能】 経済がどのように回っているのか理解す る。物価や税金、社会保険、公共料金が家計 に及ぼす影響について知る。契約について知 る。クレジットについて理解する。 【思考・判断・表現】 消費者問題について関心を持つ。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分の消費行動について知ることが自分の 人生の経済計画を考えられるようになる。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
							合計
							70